

令和6年度 公共事業再評価調書

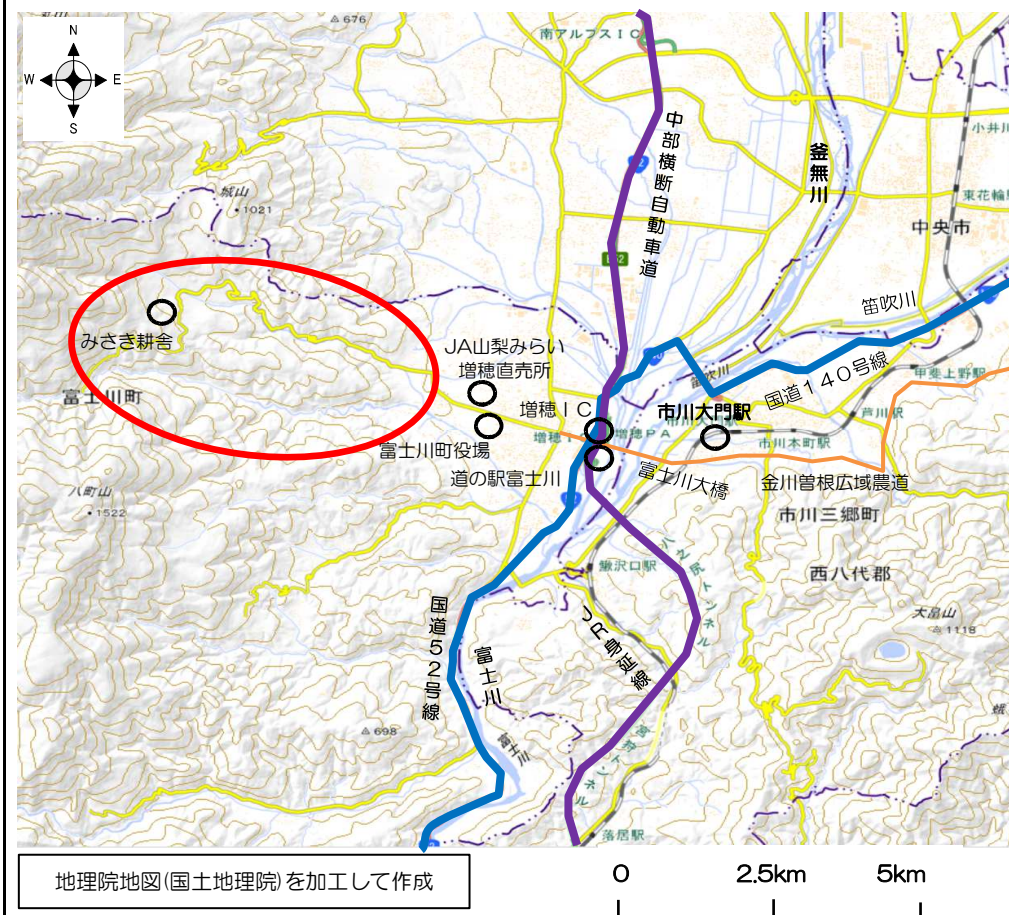
1. 事業説明シート

(区分) (国補) ・ 県単

事業名	中山間地域整備事業 〔中山間地域総合整備事業（国補）〕		事業箇所	南巨摩郡 富士川町 平林外	地区名	富士川北部	事業主体	山梨県
計画期間	当初計画	現計画	④特記事項（関連事業概要等） ・なし					
	H26～H31	H26～R6						
総事業費	1,700 百万円	1,853 百万円	2,411 百万円	⑤これまでの評価状況（平成25年度事前評価） 本事業は、生産基盤整備の遅れに伴う生産効果の低下、鳥獣被害等による農地の遊休化を防止し、農業の効率化や生産性の向上を期待できる事業であり、実施が妥当である。				
(1) 事業の概要								
①事業目的及び効果 本地区は、富士川町の北部に位置する中山間地域で、水稻や果樹を中心とした農業が営まれている。近年では地域住民による棚田の保全活動やオーナー制度等の都市交流が行われる等、地域農業に対する住民の意識は高い。 しかしながら、それらの活動の主体となる農業者は高齢化しており、基盤整備の遅れや鳥獣被害等による営農意欲の減退から担い手が不足しているのが課題である。 一方、中部横断自動車道 増穂IC付近の「道の駅富士川」には農産物直売所が併設され、これを核とした農業振興や都市交流の推進も期待される。 こうした状況を背景に、農業振興を推進する上で必要となる生産基盤を整備し、農業の効率化や生産性の向上を促すことで、地域の活性化を図る。								
☐ 主要目標 ○中山間地域等の農村生活・生産機能の向上 ・農業所得増加額 2,240千円/ha>1,322千円/ha※（※評価基準値） ☐ 副次目標 ○集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上 ○農業用排水能力の向上 ○鳥獣被害の軽減 ☐ 副次効果 ○遊休農地の解消 ○農地の保全								
②事業概要								
		現計画		変更計画				
	用排水路	L = 1,605 m	→	L = 1,439 m				
	農道	L = 2,400 m	→	L = 2,360 m				
	区画整理	A = 11.2 ha	→	A = 14.1 ha				
	鳥獣害防止施設	L=12,000 m	→	L = 5,755 m				
③全体計画								
		令和5年度まで		令和6年度 （評価実施年度）		令和7年度以降		
現計画	工事内容	用排水路	L = 1,605 m	農道	L = 120 m	—		
		農道	L = 2,280 m		A = 1.6 ha			
		区画整理	A = 9.6 ha					
		鳥獣害防止施設	L=12,000 m					
	事業費	1,749 百万円	104 百万円	—				
変更計画	工事内容	用排水路	L = 1,112 m	農道	L = 75 m	用排水路	L = 252 m	—
		農道	L = 1,798 m		L = 160 m		L = 402 m	
		区画整理	A = 3.9 ha		区画整理		A = 10.2 ha	
		鳥獣害防止施設	L = 5,755 m					
	事業費	1,128 百万円	70 百万円	1,213 百万円				

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

(2) 事業位置図等



2.評価シート（1）

（1）事業を巡る社会経済情勢等の変化

（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）

①地域・住民の意向状況

用排水路、農道、区画整理の未着手路線について、早期の整備が求められている。

②産業・経済情勢

平成26年度に道の駅富士川が開設され、令和3年度には中部横断自動車道が全線開通し、道の駅には地区内で収穫された農作物やその加工品が取揃えられている。

また、全線開通後は地区内の拠点施設であるみさき耕舎への県内外からのアクセスが向上することでより多くの観光客が訪れることが可能となり、農作物等の販売や農業体験など、地域活性化の取り組みの促進が期待される。

③国等の方針

なし

④上位計画・関連事業計画等

やまなし農業基本計画(令和6年1月改定)

⑤自然環境条件等

なし

⑥その他

令和3年2月には平林地区が棚田地域振興法に基づく棚田地域に指定され、棚田を核とした地域振興が進められている。

さらに、平林地区・春米地区では、農業を中心とした持続的な地域づくりを目指し、令和6年2月に農村RMOへの取組に向けた協議会「ふじかわRMO未来会議」を設立しており、更なる地域の活性化が期待できる。

※ 農村RMO：複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う農村型地域運営組織

（2）評価時点の費用対効果分析

項 目		着手時点	変更計画時点
総事業費		1,700 百万円	2,411 百万円
工 期		H26 ～ H31	H26 ～ R11
経 済 効 率 性	評価基準年	H25	R6
	費用	1,730 百万円	2,727 百万円
	建設費	1,730 百万円	2,727 百万円
	その他費用		百万円
	便益	2,420 百万円	3,792 百万円
	作物生産効果	1,330 百万円	2,063 百万円
	走行経費節減効果	850 百万円	1,201 百万円
	営農経費節減効果	210 百万円	343 百万円
	その他※	30 百万円	185 百万円
B/C		1.4	1.4

費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上

※その他は、品質向上効果、国産農産物安定供給効果、災害防止効果、維持管理費節減効果

（3）これまでの計画変更等の概要

・区画整理において、新規参入の担い手農業者の意向や高収益作物導入に必要な区画形状の検討など、換地計画の合意形成に日数を要したため、計画期間を令和6年まで延長した。

・農道や用排水路の計画路線について、地元の意向に基づき線形計画や構造物計画を見直す必要が生じたことにより事業費が増となった。

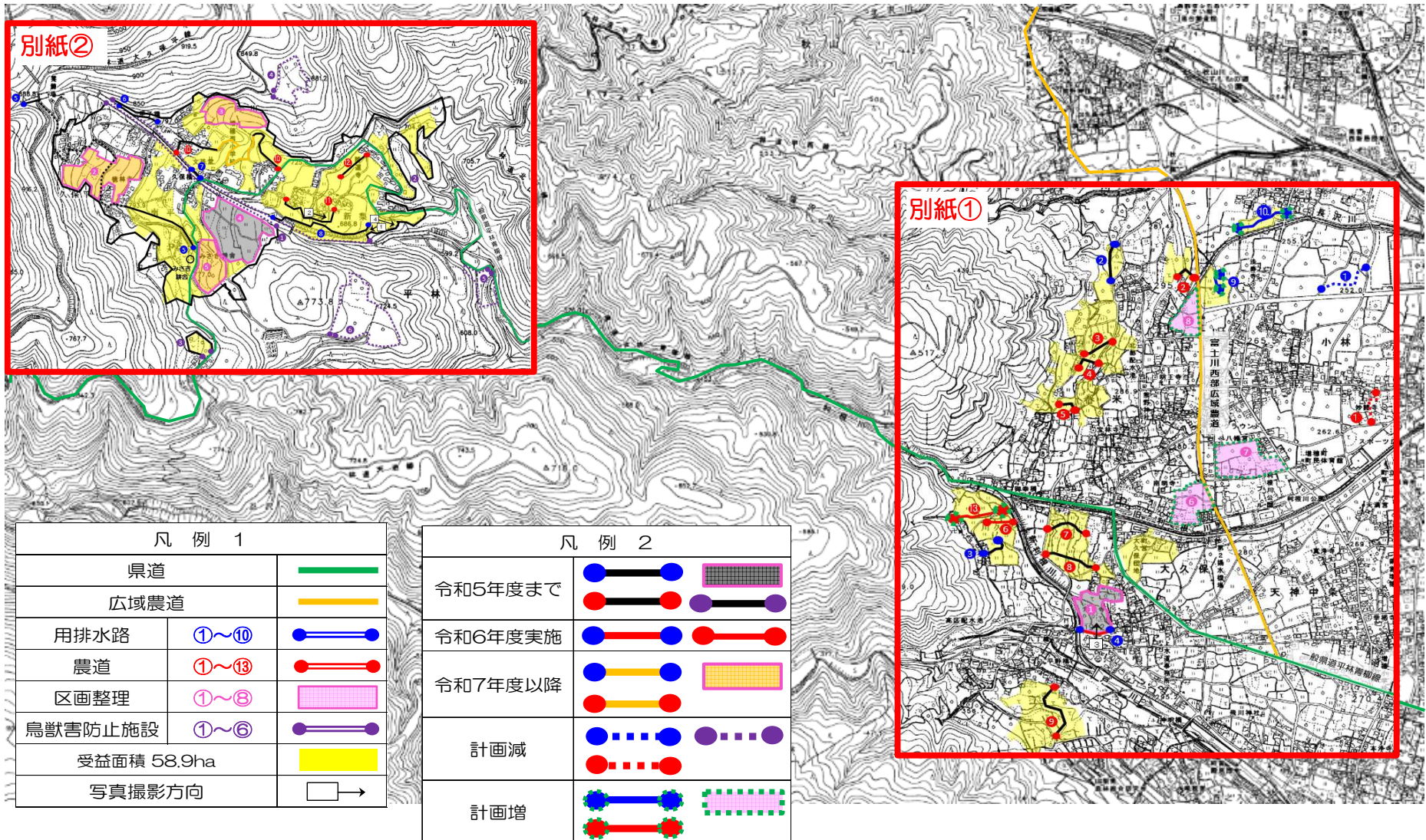
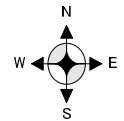
・物価高騰や労務単価の上昇を要因とする事業費の増。

	当初	現計画
事業費	1,700百万円	→ 1,853百万円
計画期間	5年延長	

評価シート（２）																													
（４）事業進捗状況及び見込み												（５）環境負荷等への配慮																	
①進捗率 別表のとおり。 R6年度進捗率（現計画）100%→（実績）64.7%→（変更計画）49.7%												なし																	
②進捗率実績が計画と相違している理由 担い手農業者の営農計画に合わせ多数の筆を集積するため、地域の合意形成や参入企業との調整に時間を要した。																													
③総事業費の変更内容												（６）コスト縮減の可能性																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>変更工種等</th> <th>事業費増減</th> <th>変更理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区画整理</td> <td>755百万円 増</td> <td>計画区域での区画整理の実施を契機に、周囲の区域においても区画整理の気運が高まったことから、面積が増となった。</td> </tr> <tr> <td>鳥獣害防止施設</td> <td>197百万円 減</td> <td>当初は、河川の右岸側と左岸側をそれぞれ囲むように計画していたが、集落全体をまとめて囲い、地域全体で管理することとしたため設置延長の減となった。また、周辺の飛び地については営農状況の変化により整備水準を見直し、別事業による整備に移行したため、設置延長の減となった。</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>558百万円の増</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												変更工種等	事業費増減	変更理由	区画整理	755百万円 増	計画区域での区画整理の実施を契機に、周囲の区域においても区画整理の気運が高まったことから、面積が増となった。	鳥獣害防止施設	197百万円 減	当初は、河川の右岸側と左岸側をそれぞれ囲むように計画していたが、集落全体をまとめて囲い、地域全体で管理することとしたため設置延長の減となった。また、周辺の飛び地については営農状況の変化により整備水準を見直し、別事業による整備に移行したため、設置延長の減となった。	合 計	558百万円の増		なし					
変更工種等	事業費増減	変更理由																											
区画整理	755百万円 増	計画区域での区画整理の実施を契機に、周囲の区域においても区画整理の気運が高まったことから、面積が増となった。																											
鳥獣害防止施設	197百万円 減	当初は、河川の右岸側と左岸側をそれぞれ囲むように計画していたが、集落全体をまとめて囲い、地域全体で管理することとしたため設置延長の減となった。また、周辺の飛び地については営農状況の変化により整備水準を見直し、別事業による整備に移行したため、設置延長の減となった。																											
合 計	558百万円の増																												
④事業期間の変更理由及び進捗予定												（７）代替案立案の可能性																	
追加する計画路線について、合意が得られたことから計画的かつ効率的な実施に努め、工期を5年延長し令和11年度の完了を予定している。												なし																	
⑤今後の事業執行における留意点												（８）所管部の今後の方針																	
なし												継続・ <u>見直し継続</u> ・その他（ ） （理由） 道の駅 富士川の供用開始により、地元の農作物等を求め多くの観光客が増加していく中で、地域の更なる活性化を促進するために必要不可欠な基盤整備であることから、事業を継続し、令和11年度の完了を予定している。																	
○別表-進捗率（事業費ベース）																													
算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費／総事業費×100																													
単位：％																													
	年度	*H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	*R6	R7	R8	R9	R10	R11												
現	計画	5.3	13.6	21.3	31.6	44.6	53.3	59.0	70.1	85.1	94.4	100																	
	実績	2.7	8.1	15.8	31.0	40.2	47.0	47.9	48.5	54.4	60.9	64.7																	
変更計画												49.7	59.6	70.0	80.4	90.5	100												
*事業着手年度又は評価年度																													
*R6年度の実績は見込み																													

3. 添付資料シート（1）

中山間地域整備事業 富士川北部地区

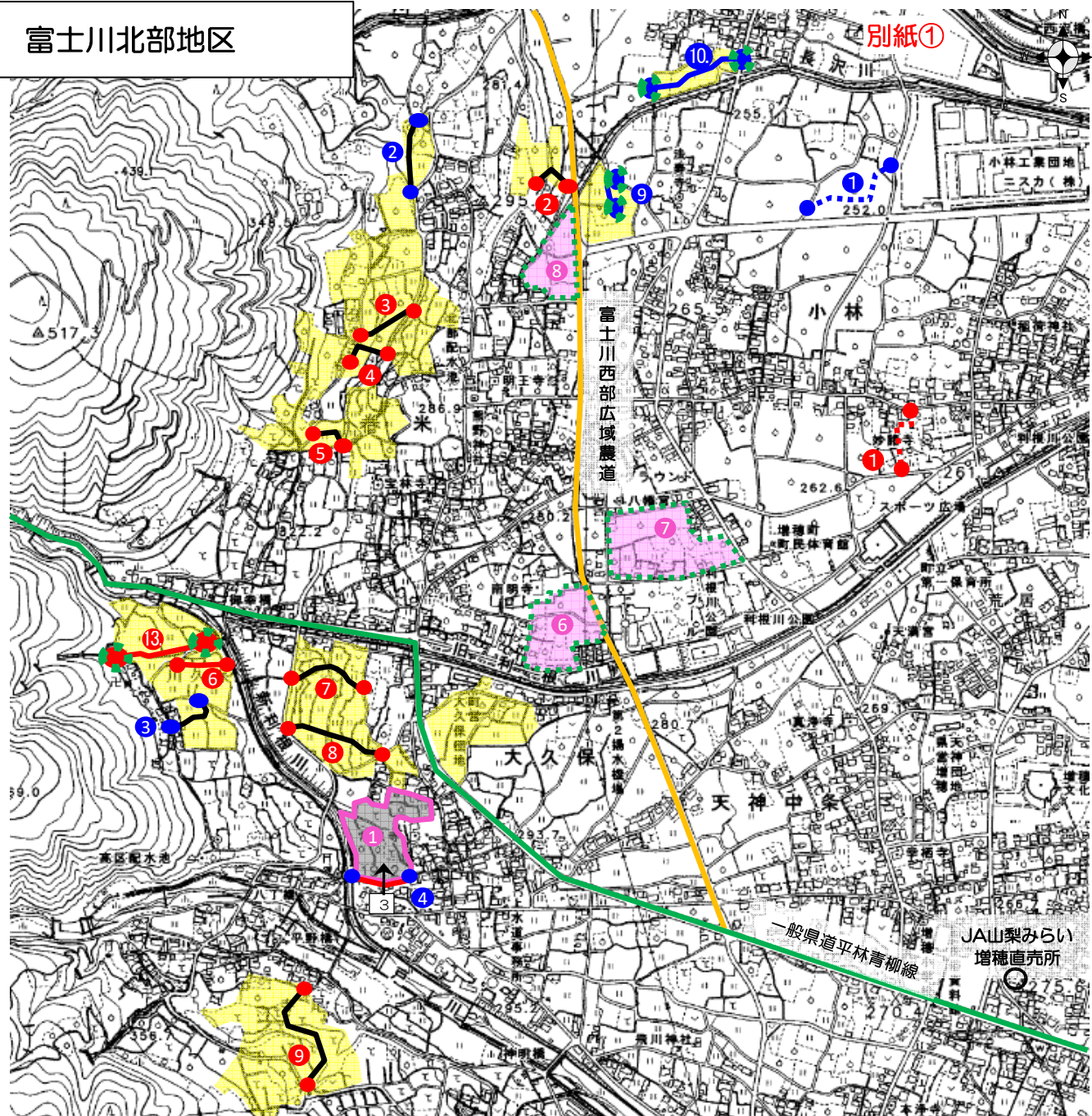


3. 添付資料シート (2)

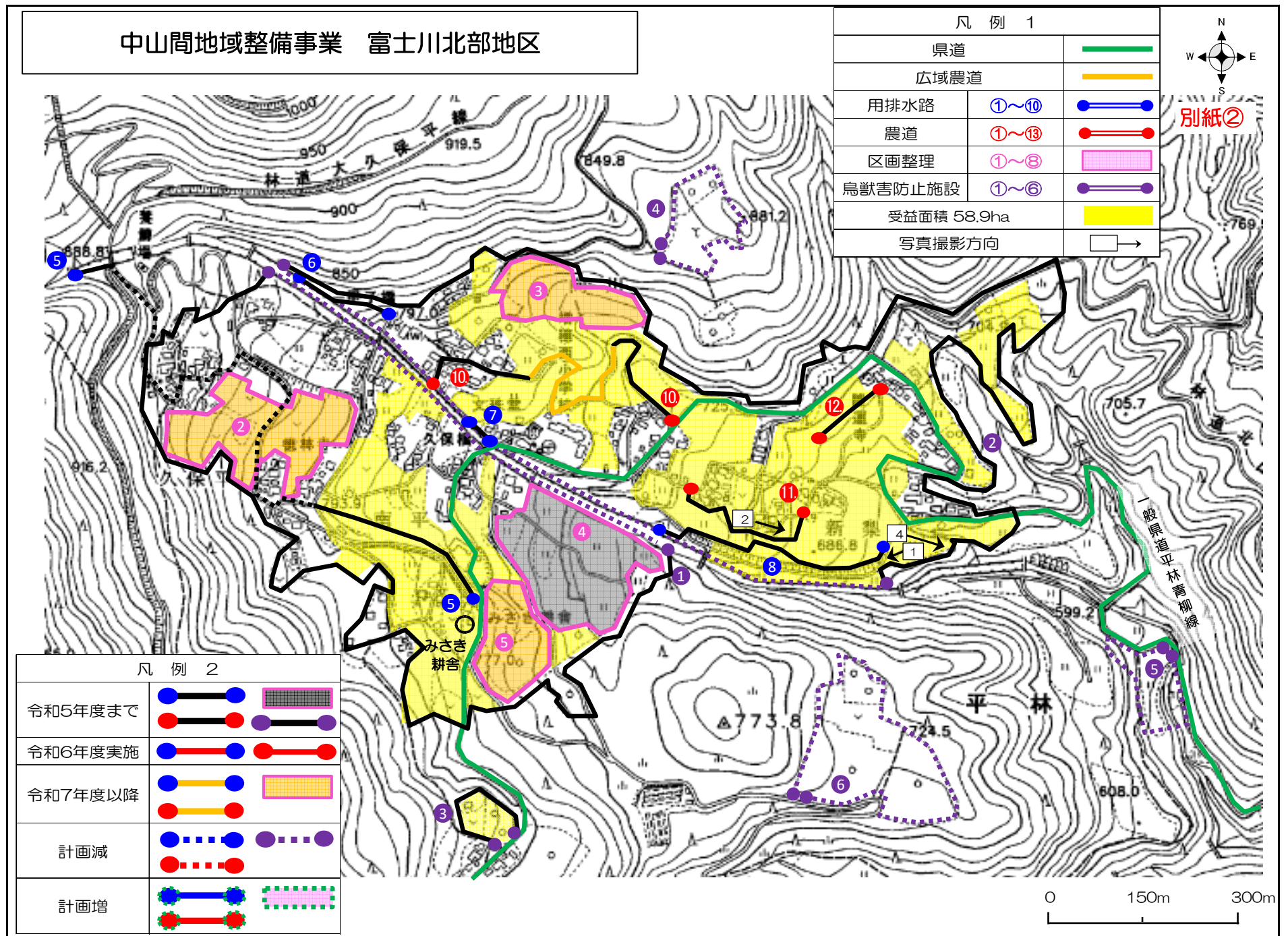
中山間地域整備事業 富士川北部地区

凡 例 1		
県道		
広域農道		
用排水路	①～⑩	
農道	①～⑬	
区画整理	①～⑧	
鳥獣害防止施設	①～⑥	
受益面積 58.9ha		
写真撮影方向		

凡 例 2	
令和5年度まで	
令和6年度実施	
令和7年度以降	
計画減	
計画増	



3. 添付資料シート (3)



3. 添付資料シート（4）

1 用排水路

整備前



水路が未整備のため、漏水、土砂堆積、草刈り等の維持管理に多大な労力を要していた。



整備後



水路を整備することにより、安定した用水供給が可能となり農作物の品質が向上するとともに、維持管理の労力が軽減されている。

2 農道

整備前



耕作道が未整備のため、車両の進入が不可能であった。



整備後



農道の整備により車両の進入が可能となり、作業効率と安全性が向上した。

3. 添付資料シート (5)

3 区画整理

整備前



整備後



整備前



(事業前)
工区面積：A=1.4ha
区画数：46区画

農地が小区画、不整形であり、耕作道も未整備で機械による農作業が困難など作業効率も悪かった。

整備後



担い手農業者への集積箇所

(事業後)
工区面積：A=1.4ha
区画数：6区画
うち 担い手農業者への
集積面積：A=1.1ha

農地の集団化が進み、営農条件も改善されたことにより担い手農業者への農地集積が可能となった。

3. 添付資料シート (6)

4 鳥獣害防止施設



花、葉を食べ尽くされている

シカの食害により被害を受けたそば畑

イノシシ、シカによる農作物被害により、耕作者の営農意欲の低下を招いている。



鳥獣害防止施設の整備により、農作物被害が軽減されるとともに、耕作者の営農意欲が向上した。

道の駅 富士川



道の駅 富士川には、地区内で栽培された農作物に加え、それらの加工品が取り揃えられている。中部横断道の全線開通により、関東や静岡方面からの観光客で賑わっている。

みさき耕舎



みさき耕舎のある平林地区では、地域農産物の販売に加え棚田を活用した農業体験など、各種イベントの開催により都市住民との交流も促進されている。

4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H26	50,000	鳥獣害防止施設 L=1,067m	2.1%
H27	100,000	用排水路 L=71m 鳥獣害防止施設 L=530m	6.2%
H28	143,000	用排水路 L=136m、農道 L=263m 鳥獣害防止施設 L=1,975m	12.2%
H29	282,000	用排水路 L=391m、農道 L=711m 鳥獣害防止施設 L=1,204m	23.8%
H30	170,000	用排水路 L=225m、農道 L=527m	30.9%
R1	125,000	農道 L=244m 鳥獣害防止施設 L=979m	36.1%
R2	18,000	農道 L=53m	36.8%
R3	10,000	測量設計	37.2%
R4	110,000	用排水路 L=181m、区画整理 A=1.4ha	41.8%
R5	120,000	用排水路 L=108m、区画整理 A=2.5ha	46.8%
R6	70,000	用排水路 L=75m、農道 L=160m、	49.7%
R7	240,000	用排水路 L=80m、農道 L=100m、 区画整理 A=1.5ha	59.6%
R8	250,000	用排水路 L=90m、農道 L=100m、 区画整理 A=1.5ha	70.0%
R9	250,000	用排水路 L=82m、農道 L=102m、 区画整理 A=1.7ha	80.4%
R10	245,000	農道 L=50m、区画整理 A=2.8a	90.5%
R11	228,000	農道 L=50m、区画整理 A=2.7ha	100.0%
合計	2,411,000		